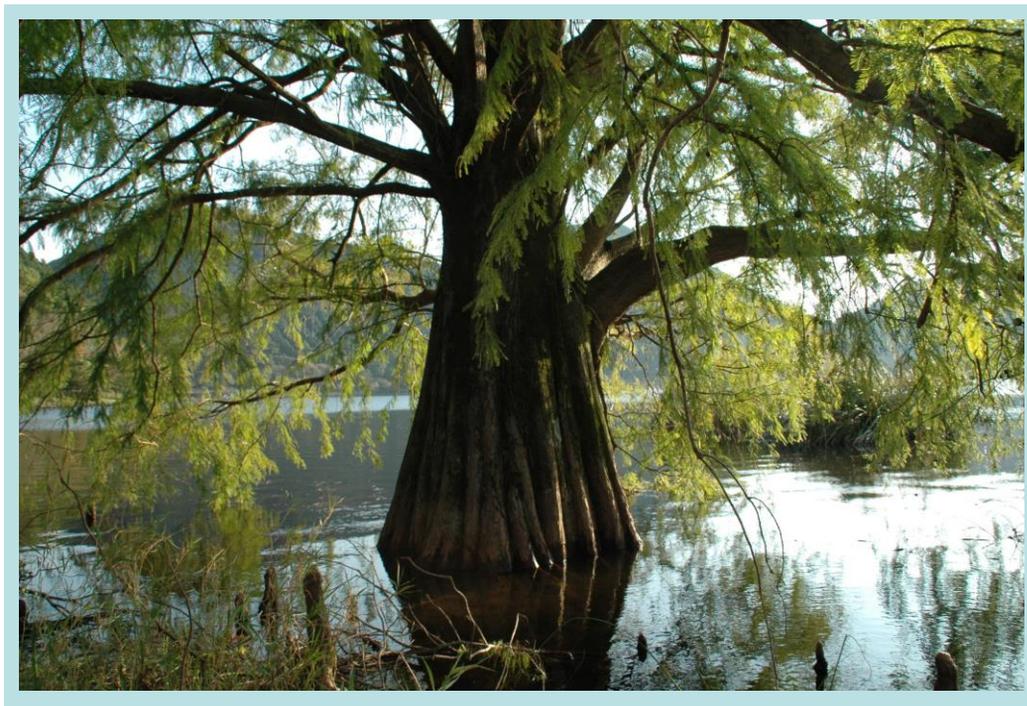


# かごしまの巨木と出逢う



あなたに出逢えてよかった

地域に想いを馳せ、未来へ引き継ぐ



◇ 日時:平成26年11月23日

◇ 講師:佐伯 直憲氏 (樹木医)

◇ 主催:フォレスト22

(鹿児島県森林ボランティア団体)



# 巨木を深く知り、そして学ぶ

## 樹木医と巨木を巡る観察会 in 川薩

貴重な経験をおしみなく語る



佐伯 直憲氏(樹木医)

### あなたに出逢えてよかった

森の重鎮(巨木)には、身近な地域の人々が大切にしている歴史があるから、訪れる人の心を打つのかも知れません。

幾世代の人々の喜びも悲しみも包み込んできた森の重鎮(巨木)は、いつも人々の暮らしと共に生きてきた。そして、今ここに、凛として立っています。

今回、巨木は、決して強いわけでもなく、繊細で微妙な環境のバランスの中で生きていることを学ぶでしょう。

最も尊いのは、

森の重鎮(巨木)を守りぬき、そして、共に寄り添い繋がってきた人々の幾世代を超えた時の重みだと思えます。

今回、ご案内するほとんどの巨木を、専門的な立場で優しく見守り繋がってきたのが、樹木医 佐伯 直憲氏です。

佐伯氏のみが語れる、多くの貴重な体験を知り得る、絶好の機会になると思います。巨木の現状など、私たちが知りえない多くの気づきや感動を持ち帰ってください。

そして、自分のふるさとや身近な地域の良さに目を向けてくださったら嬉しく思います。あわせて、樹木医の仕事についての理解を深める機会になれば幸いです。

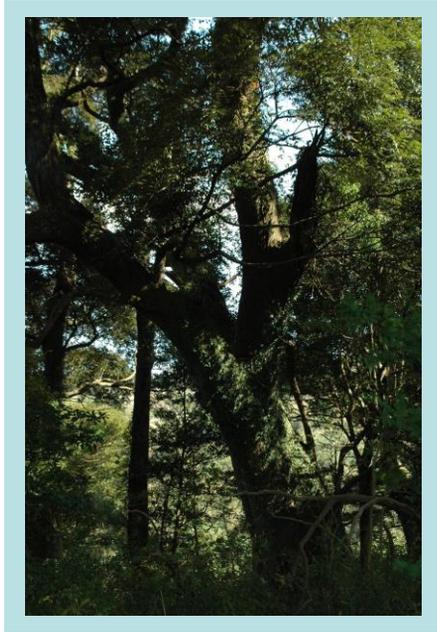
さあ、出かけましょう！

森の重鎮に出逢ったとき、あなたは五感で何を感じるのでしょうか？



## 鹿児島大学入来牧場

(シイ・イス・サザンカ)



時間があれば、バスを止めて、ちょっと寄り道します。

人知れず、雑木林の中に残された巨木  
いつの日か名木に指定されるかも知れません。

### 一期一会

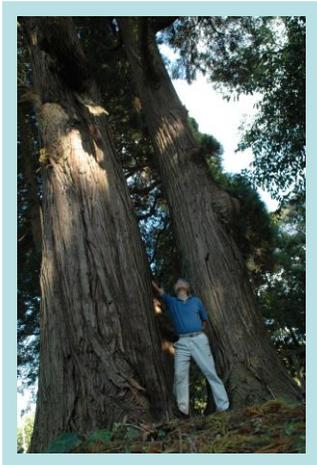
過去からつながる長い道のり、あなたに出逢えてよかった。  
今、遠い未来への通過点にいます。





## 日枝神社

## (スギ)



日枝神社のスギは、平成7年、旧祁答院町の町制施行40周年記念事業で銘木に指定されています。

樹齢は、約200年で境内に7本生育しています。





## 蘭牟田池

## (ラクウショウ【ヌマスギ】)



蘭牟田池のラクウショウは、池の湖面から生育して、膝と呼ばれる気根が発達している。

産地は北米東南部であり、葉は互生で、沼地や湿地の生育状態では気根がある。  
葉は互生

また、湖面には浮島があり、暖地で唯一泥炭がみられ、泥炭形成植物群落として大正10年に国の天然記念物に指定されています。





## 永利（石神神社）（オガタマ）



永利のオガタマは、樹高22m幹回り6.7m、国内でも有数の大きさです。昭和19年に国指定天然記念物に指定されています。

オガタマノキは、モクレン科の仲間です。常緑高木です。「オガタマ」は「招霊(オキタマ)」の転訛といわれ、玉串に使われる等昔から神社と縁が深いです。

なお県内で同じような大きさのオガタマが伊佐市にあります。





## 新田神社 (クス)



新田神社のクスは、樹高24m、幹回りは13m、昭和46年に市指定天然記念物に指定されています。拝殿手前の階段の右手にあり、ヒトツバ、オオタニワタリ等が着生しています。

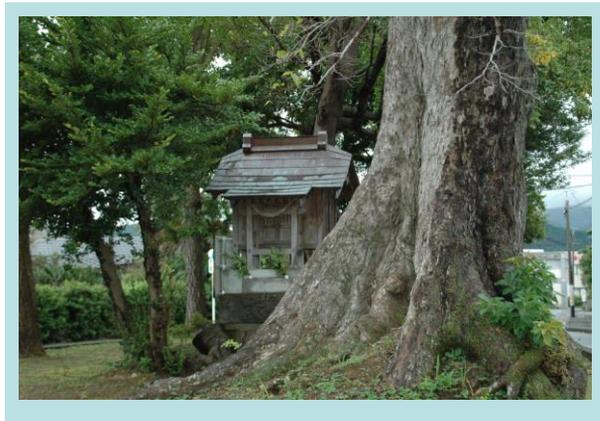
地上約2mの所に約400年前に神社改築造営の時の総奉行阿多長寿院盛淳が奉納したといわれる木象があるそうです。探してみましょう。





## ウツガドンの森

(ムク・タブ・エノキ)



「ウツガドン」とは、この名手であった富宿家の氏神のことです。串木野市街地の道路に囲まれたロータリーにあり、以前はムクノキ、エノキ、タブノキがあったが平成4年の台風でエノキが倒れタブノキの上部が消失しています。残りのムクノキもだいぶ衰退しています。

昭和49年に市指定天然記念物に指定されています。

